

赤十字かごしま

1月号
Vol.192



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

□発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600 [平成25年1月発行]



日本赤十字社鹿児島県支部
支部長

伊藤 祐一郎

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、日頃から赤十字事業への深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

顧みますと、未曾有の被害をもたらした東日本大震災からもうすぐ2年の月日が流れようとしています。しかし、自然災害は止むことなく、昨年は、奄美地方で8月以降、連続して台風が来襲し、家屋の全半壊、床上・床下浸水による被害が多数発生したほか、県外では、九州北部豪雨災害や京都府南部豪雨災害など、各地で甚大な被害をもたらしました。

日本赤十字社鹿児島県支部としては、このような災害に対して、救援物資の配付、義援金の募集など各種の人道支援事業を展開してまいりまし

た。県民の皆様には、その都度温かいご支援を賜り改めて厚くお礼申し上げます。

ご承知のように日本赤十字社は、国際活動や災害救護活動、医療事業、血液事業、社会福祉事業、各種講習普及事業など多くの事業を展開しておりますが、これらの活動は皆様方の温かい善意と、積極的な参加に支えられております。

本年も昨年に引き続き、「人道」の旗印の下、積極的に展開してまいりますので、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年が平和で穏やかな一年となりますよう、併せて、皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、新年にあたってのごあいさつとさせていただきます。



平成24年度「NHK海外たすけあい」キャンペーン ～皆様のご協力ありがとうございました～

12月1日(土)から25日(火)まで実施された「NHK海外たすけあい」キャンペーン。30回目を迎えた今回のテーマは、「たすけあいを、忘れない」。東日本大震災では、160を超える国・地域からあたたかい支援が寄せられました。災害や紛争、飢餓や病気などで苦しむ世界中の人々のために、今度は私たちができることを。

鹿児島県支部では、県内3カ所で街頭キャンペーンを実施し、青少年赤十字加盟小・中・高校の生徒や赤十字奉仕団など総勢140名が募金を呼びかけました。

県民の皆様から寄せられた寄付金は、世界各地で苦しんでいる人々を救う国際活動の事業に使われます。ご協力ありがとうございました。



ーキマグレンと一緒に献血を考える。550人の若者が熱狂ー

「鹿児島県ヤング献血フォーラム in南さつま～献血 It's My 勇気～」を開催

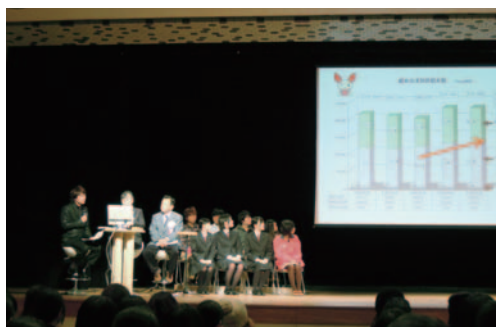
鹿児島県赤十字血液センターと南さつま市の共催による「鹿児島県ヤング献血フォーラム in 南さつま～献血 It's My 勇気！～」が、11月18日に南さつま市民会館で開催され、南さつま市及び近隣の10代、20代の若者約550名が参加しました。

南さつま市の本坊輝雄市長による「自分たちの町は自分たちで支える」という力強い言葉で始まったフォーラムでは、献血の必要性を訴えたドキュメンタリー「アンパンマンのエキス」と「献血、ありがとう」のDVDを放映。その後、ミュージックFMのDJでお馴染みのポッキーさんの司会により、血液センターの吉田紀子所長と本坊輝雄市長が全国及び鹿児島県の年代別献血者数や輸血用血液の使用量等をスライドで説明しました。

鹿児島県内では、急速な少子高齢化の進展等により、特に10代、20代の若者を中心に献血者が年々減少しています。その一方で、高齢者の増加や疾病構造の変化等により輸血用血液製剤の需要が増えてきており、鹿児島県内で必要な血液を県内の献血で賄う「自給自足」ができない状況に陥り、県外から応援を頂いている厳しい状況を説明し、将来を担う若年層に献血の重要性・必要性を訴え、積極的な献血協力を呼びかけました。

続けて高校生や大学生、社会人などの代表者17名が加わり、献血トークショーを行い、若者の献血意識や献血啓発活動等について、それぞれの考えや献血体験等を発表し、会場の若者に献血行動を促しました。また、特別ゲストのアーティスト「キマグレン」にも献血に対する思いを話して頂いた後は、献血クイズ大会を通して参加者に献血に関する知識や必要性を学んで頂きました。最後はキマグレンのミニライブも行われ、会場の若者が総立ちするなど、熱狂し、大盛況のうちに終わりました。

参加者へのアンケート調査でも、「このフォーラムに参加して、献血を通じてもっと社会に貢献したいと思った。健康が続くかぎり献血を続けていきます。」といった声が多く寄せられました。このフォーラムを機会に若年層の更なる献血への協力が期待されます。



成人式を迎える若者を中心に・・・

「はたちの献血キャンペーン」実施

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するために、今年度も『はたちの献血キャンペーン』を実施します。

新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心とした国民の皆様へ献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に、成分献血、400mL献血の継続的な推進を図ることとしております。

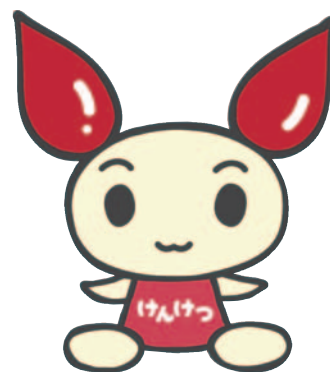
なお、キャンペーン期間中(平成25年1月1日～2月29日)、各献血会場に設置された専用応募用紙にてお申し込みいただいた献血者の方の中から抽選で、下記のグッズを差し上げます。ぜひ、この機会に献血へのご協力をお願いいたします。

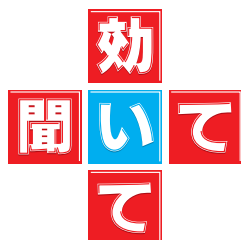
A賞「けんけつちゃん オリジナルクッション」(100名)

B賞「けんけつちゃん オリジナルトランプ」(500名)

C賞「武井咲 オリジナルポスターカレンダー」(2400名)

※全国でA～C賞あわせて3000名の当選となります。





VOL.57

適切な治療で骨折を予防しましょう

鹿児島赤十字病院 整形外科 やました よしなが 山下 芳隆

わが国においては急速な高齢化に伴い骨粗鬆症こつそしょうの患者さんが年々増加しつつあり、その数は現時点で1300万人と推測されています。

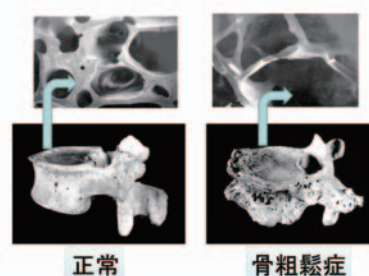
骨粗鬆症とは、骨量（カルシウムなど骨全体に含まれるミネラルの量）の低下と、骨質の劣化によって、骨が脆くなり骨折の危険率が增大する病気で、閉経後の女性に多く発症するのが特長です。女性ホルモン（エストロゲン）には骨形成を促進し骨吸収を抑制する作用がありますが、閉経によって女性ホルモンが欠乏すると、骨の代謝回転が亢進し（高回転型）、骨吸収が骨形成を上回って急速に骨量が減少します。これが閉経後骨粗鬆症です。

このような閉経による変化は、60～65歳以降には一般的には落ち着き、次第に老化に伴って骨の代謝回転が低下していきます（低回転型）。すると今度は、骨形成の低下が骨吸収の低下を上回り、ゆっくりと骨量が減少していきます。これが加齢に伴う骨粗鬆症で、女性だけでなく男性にも起こります。

骨折は骨粗鬆症の合併症であり、骨折を予防するために骨量の維持ならびに増加を図ることが大切です。骨粗鬆症に伴う骨折としては脊椎、肩関節、手関節、股関節に多く発生します。特に股関節骨折（大腿骨頸部骨折）は寝たきりの主要原因となることがあり、注意を要します。

骨粗鬆症の治療は、食事療法、運動療法、薬物療法からなります。加えて高齢者の骨折予防のためには骨自体の強度のみならず、運動能力の維持・増進や転倒防止を念頭においた環境の整備も必要になります。当院では骨塩定量装置、X線をはじめとして総合的に骨粗鬆症を診断し、患者さんの状況に見合った治療を提供させていただいております。

最近、背が低くなった、背中が丸くなったと思われる方、整形外科の受診をお勧めいたします。



正常

骨粗鬆症

骨量減少→骨の脆弱化→骨折



錦江園、全面的な建て替えのため 仮設建物への引越

特別養護老人ホーム錦江園は、日本赤十字社最初の特別養護老人ホームとして昭和49年に開設以来38年が経過し、建物・設備の老朽化が著しいことから、平成26年春の竣工をめざし、全面的な建て替えを行います。

建て替えに伴い現在の建物を解体するため、去る11月17日に仮設建物への引越を行いました。ご利用者70名、職員50名の引越を1日で行うということで、安全な引っ越しのため、職員で何度も話し合いを重ね、当日はボランティアの方々のお手伝いをいただき、無事引っ越しを終えることができました。

現在は4人部屋が主ですが、改築後はご利用者一人ひとりの生活環境を豊かにし、希望に沿った質の高いケアを行うために、全室ユニット型個室になる予定です。

ユニット型への移行にあたり、職員も他県のユニット型施設への短期研修や、ユニットケア推進センターから講師を招いて全体研修を行うなど意識改革を行っております。今までとは全く違うケアの在り方に戸惑う部分もありますが、ご利用者へ寄り添うケアが今まで以上にできるのではと、楽しみな気持ちでいっぱいです。

関係者の皆さまには、工事期間中ご迷惑をおかけすることとなりますが、何とぞご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。



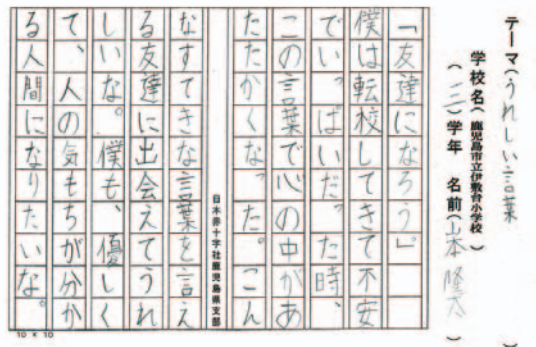
♥日本赤十字社鹿児島県支部創設120周年記念 「絵画・100文字作文」コンクール

日本赤十字社鹿児島県支部は、昨年、創設120周年を迎えました。これを記念して、「人道・博愛」の精神の普及を目的に、「絵画・100文字作文」コンクールを実施したところ、県内の幼稚園・保育園・小・中・高等学校・特別支援学校から、114校 3214点のご応募をいただきました。

厳正な審査を経て、受賞者の表彰式を平成24年10月27日(土)イオンモール鹿児島で開催しました。

式では、各学年別に、支部長賞、青少年赤十字協議会長賞、青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞および、学校賞の表彰を行い、生徒一人一人に賞状と記念の盾が贈られました。

受賞作品は、10月15日(月)から同じくイオンモール鹿児島に展示され、多くの来場者が足を止めて、作品を鑑賞していました。



イオンモールで展示された100文字作文作品



イオンモールで展示された絵画作品



10月27日に行われた表彰式の様子

知って役立つ技術

災害時に役立つ道具作り①

タオルや毛布を使用した「ガウン」(寒い時期に低体温症にならないように)



①着物を着付ける要領で、下半身を包み、紐等で止める。



②着上半身を覆い、襟元と袖口を整える。



仕上がり(後ろ姿)

災害が起こった時にあなたが支援できること

ご自身や故人の思いを赤十字へ…
各種寄付金を申し受けます。

ご自分や故人の財産の一部、或いは「香典返し」に代えてご香典の一部を広く社会に役立てたいとお考えの方へ、当県支部では、遺産・相続財産の寄付や香典返しによる寄付を申し受けます。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。詳しくは日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

 **日本赤十字社 鹿児島県支部**
Japanese Red Cross Society

 **099(252)0600**

URL://www.minc.ne.jp/nisseki/ E-mail:shibu-rc@po.minc.ne.jp

日赤鹿児島県支部

検索